**篠原記念賞推薦書**

【被推薦者（表彰候補者）】※下線のある項目は必須。それ以外についてはわかる範囲で記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 衛生　一郎　　　　　　　　　　　　　　　 | 生年月日(西暦) | 　　　　1972年　　1月　　1日 |
| ふりがな | えいせい　いちろう | 推薦年度末3月末時点の年齢 | 　　　47　　　才 |
| 所属企業・団体・機関・大学(院) | 名　　称 | 株式会社○○○○○設備工業 | 役職 | 課長 |
| 部　　署 | 設備工事部○○○○課 | TEL | 03-1234-5678 |
| 住　　所 | 〒○○○－○○○○　東京都新宿区北新宿○－○－○ | E-mailｱﾄﾞﾚｽ | abcd@efg.com |
| 主な経歴 | 最終学歴 | ○○大学大学院　　　　(専攻：建築設備工学専攻　) | 卒業年月 | 1993年3月 |
| 公的資格 | ○○○○設備士 |
| 1993年4月　株式会社○○○○○設備工業入社1994年4月　同社設計部にて給排水衛生設備の設計業務に従事1996年４月～同社技術研究所にて建築設備に関する各種調査、技術開発業務に従事 |
| 本人の同意 | □候補者本人は、篠原記念賞に推薦されることに同意している。 |
| 現在の主な職務内容 | 給排水衛生設備の品質管理業務 |
| 空衛学会との係わり | 入会年月 | 1989年5月 | 会員番号 | 0000000 |
| 主な活動内容 | 給排水衛生設備委員会○○○○小委員会幹事（2012年4月～現在）標準化委員会□□□□小委員会委員（2013年4月～現在） |
| 学会での受賞歴 | 篠原記念賞奨励賞（○○年） |
| 受賞した際、希望する表彰式会場　※いずれかに○ | 東京・北海道支部・東北支部・中部支部・北信越支部・中国四国支部・九州支部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※受賞通知時に変更可能です |
| 備考 |  |

【業績について】

|  |
| --- |
| 業績の区分　※推薦要領２．１）篠原記念賞対象業績区分の8項目から1つ選択し概要を記述して下さい |
| ＜業績の区分：　（５）　＞○○○○小委員会においてに○○関する○○○○試験法のSHASE規格化に向けての素案作成し、用途拡大に向けての検討結果を同委員会に報告提示した。同報告はシンポジウムにて講師として報告、出版物としても広く公開することにより業界に大きく貢献することができた。具体的には①・・・・・・・・・・・②・・・・・・・・・・・③・・・・・・・・・・・があり、その成果は学術的に有効であったと考えられる。　□□□□小委員会では幹事として各課題検討に関するリーダーとして常に主導的位置で責務を遂行している。 |
| その他の主な業績(上記の業績以外で特記すべき業績があれば具体的に記述してください) |
| 空気調和・衛生工学会以外での論文、委員会活動として国際会議（CIB-W62：給排水衛生部門）をはじめ、建築学会水環境性能小委員会での○○○○性能評価研究や給排水設備研究会○○○○委員会での△△△△調査研究等において報告を行っている。 |

【推薦者情報】下記のいずれかに記入

□ 委員会から推薦する場合の推薦者　　　　　　　　　　　記入日　西暦　　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 委員会名 | 給排水衛生設備委員会 |
| 役職名 | 副委員長 | 氏名 | ○○　○○ | ふりがな | ○○○○　○○○ |
| 問合せ先 | TEL　00-0000-0000　　　　　　　　E-mail　 abcd@efg.com |

□公募による推薦の場合の推薦者　　　　　　　　　　　　　記入日　西暦　　　　年　　　月　　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 |  | ふりがな |  |
| 所属企業・団体・機関・大学(院) | 所属機関名　　称 |  | 役職 |  |
| 部　　署 |  | TEL |  |
| 住　　所 | 〒 | Eメール |  |
| 空衛学会 | 入会年月 |  | 会員番号 |  |

|  |
| --- |
| 推薦者理由 |
| ○○○○君が、給排水衛生設備委員会○○○○小委員会ではSHASE-S206に示されている○○○○法における設計数値の見直しや、○○負荷算定に対する適合性を基本に基づいて評価するとともに、設計ツールとして具現化している。これらは今後の設計業務に大きく寄与するものと期待できる。また、○○試験法のSHASE規格化に向けて主導的な立場でWGをまとめ、規格をまとめあげていった。これらの活動は給排水衛生分野における活動は業界に広く認められるところである。よって、○○○○君を篠原記念賞候補者として推薦する。 |